



2-18

農業体験学習「たんぼのこ」

滋賀県では、子どもたちが農業体験学習をととして、農業への関心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶ「農からの食育」を推進するため、各市町の小学校での取組みを「たんぼのこ体験事業」として支援しています。

1. 体験学習の内容

子どもたち自らが、田んぼや畑に入り、植え付けから収穫までの様々な農作業を行い、また、収穫した作物を調理して食べるなど、一貫した農業体験学習（「育てる」「収穫する」「食べる」）が特徴です。

農業体験学習に加え、「環境サポートメニュー」と「地産地消メニュー」を実施するステップアップ事業も行っています。「環境サポートメニュー」は作物の生育観察や田んぼ・畑周辺の動植物調査、水質調査など、「地産地消メニュー」は地域の農産物や伝統食文化の学習、地元伝統食の調理体験などを行っています。また、農作業や調理体験をととして地域の方々との交流も深めています。



写真2-18-1 田植え風景



写真2-18-2 収穫の様子

2. 体験学習の実施状況

「たんぼのこ体験事業」は2002年度に始まり、2023年度には県下全市町の201校（全小学校の約90%）で実施されています。

各小学校で農業体験学習などの内容を検討され、都市域・住宅域で近くに田んぼや畑がない小学校ではプランターを用いた作物の栽培を行うなど、工夫をされています。育てた作物は、家庭科の調理実習で食べる、農作業を手伝ってくれた地域の方々と一緒に食べる、家に持ち帰って家族と一緒に料理をして食べるなど、様々な方法で食べる体験が行われています。



写真2-18-3 調理実習の様子

3. 小学生の反応

「作物を育てる楽しさや苦労を実感できた」、「自分で育てたお米はとてもおいしく感じた」、「食べ物ができるのは大変なので、もっと感謝して食べようと思った」などの声が寄せられています。普段食べている食べ物について体験を伴う学習を行うことが、食べ物や生命の大切さを学ぶ機会となり、「農からの食育」を推進しています。

みらいの農業振興課